

# 2015年猪苗代湖の蜃気楼発生状況・他

星 弘之

(北海道・東北蜃気楼研究会)

## 1. はじめに

猪苗代湖周辺は3月でも残雪がいつもの年より多くあり、蜃気楼が発生しても白い面が多く対象物の変化がハッキリしない状況だった。4月の初旬中旬は天候が悪く観測出来なかった。下旬は天候に恵まれ鶴ヶ城の桜は例年より数日早く開花、26日から連続5日間も蜃気楼に出会うことが出来た。5月1日も風向風速ともに発生パターンに入っており、可能性は大だったが都合により観測できず。2日は発生を確認したが1日も発生していたと確信している。

## 2. 発生状況

3月 17.18.22.27.28.29.31 日	観測日数 7日	発生日数 6日	※二重取消線発生せず
4月 24.26.27.28.29.30 日	観測日数 6日	発生日数 5日	
5月 2日	観測日数 1日	発生日数 1日	

## 3. 観測場所と撮影方法の変更

3月17、18日の蜃気楼画像を家族などに見せても雪景色が蜃気楼化、色味が無く対象物の輪郭もハッキリせずあまり興味を持ってもらえなかった。

観測撮影の問題①色が少ない ②動きがない ③人間との関わりがない④同じ様な画像

④複数台のカメラでインターバル撮影(5~15s)→ハードディスクの圧迫

⑤同じ様な静止画、動画が増えてきた→探すのに時間が掛かる

問題を解決するため、⑥観測場所を変更⑦インターバル撮影を控えデジ一眼による蜃気楼時のみ短時間動画撮影⑧水上バイクと蜃気楼を組み合わせ狙う⑨光の蜃気楼も狙うことにした。

## 4. 今年一番の蜃気楼

3月29日は、はくちょう丸が多像化、首も伸びた、4月26日は色彩や動き、変化と申し分ない最高の蜃気楼だった



【多像化】



【堅田交差点付近の複雑な蜃気楼】



【長浜の複雑な蜃気楼】

## 5. 高低差による蜃気楼の違い

無人カメラを高さ 13.5m のところに設置し観測していたとき、魚津蜃気楼研究会会長澤崎氏より「何でそんな高いところに設置するのか、1m 違えば見えなくなる。」とのご指摘があった、経験的には分かっていたが設置に伴う諸問題によりこの高さに設置せざるを得なかった。

「1m 違えば見えなくなる。」という言葉が気になっていた、蜃気楼の発生状況にも色々ある、高いところで見えずその下の低いところでは見える可能性もある、またその逆もある。

このことを検証したいと思いつけていた、昨年から目線の高低差によりどの様な蜃気楼が見えるのか試験的に撮影したので紹介する。



図 1

図 2

図 1、2 は長浜方面を撮影、各図の左は湖面より +1.5m、右は +4.5m で 3m の高低差がある、同時刻のものを左右に繋げ 1 枚にした。図 1 は高いところで変化が大きく、低いところでは変化が小さい。図 2 はその逆になっている。図 2 のように高い位置で見えなくなっても少し下に行けばまだ蜃気楼が続いている、魚津で言えば防波堤上で見えなくなっても、海面まで降りられる階段状ものがあり、高いところにいる人よりも少し長い時間蜃気楼を見ることが出来るかも知れない、チャンスがあればぜひ試して欲しい。

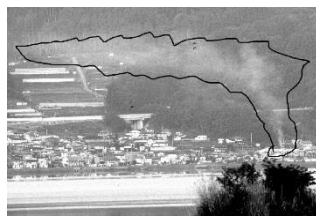
## 5. 諏訪湖に蜃気楼は発生するか？

今年の 4 月 26 日猪苗代湖の湖岸より約 5.5km 奥の町営アパートが蜃気楼化しているのを確認、過去にも同様のことがあった。このように観測地から対岸までの距離が発生地域に比べ短く（諏訪湖では約 5km）とも発生する可能性はあるのではないかと。

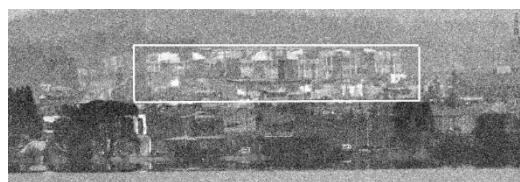
2014 年に諏訪湖で撮影した画像から、猪苗代湖に比べ逆転層が湖面より高い位置にあるように見える、逆転層が蜃気楼発生に関与しているならば発生の可能性は十分にある。通常湖岸付近を見ているが遠方のものにも注意をしながら観測する必要がある。



猪苗代湖



諏訪湖



蜃気楼化した町営アパート

## 6. まとめ

4 月 26 日に色よし、形よし、動きよし今年最高の蜃気楼を見て記録することが出来た。猪苗代湖では撮影出来ていない場所が 2 箇所ある、今後最も距離のある舟津からと最も距離が短く動きのある観光船が狙える天神浜で狙ってみたい。光の蜃気楼、色彩のある蜃気楼、生活感のある蜃気楼、水上バイクや観光船との組み合わせで撮影したい。また十分観測の出来ていない十和田湖、田沢湖の観測を続け、発生が予想される中禅寺湖を狙ってみたい。